

講演会

基調講演 ① パブリッククラウドの活用及びAI導入の取組みについて

講師：静岡県浜松市企画調整部情報政策課 村越 功司 氏

基調講演 ② つくば市におけるBPRやAI導入の取組みについて

講師：茨城県つくば市総務部ワークライフバランス推進課 三輪 修平 氏

※講演に参加を希望される方は下記URLで登録が必須です。
<https://www.shinsei.elg-front.jp/fukuoka/uketsuke/form.do?id=1570698864378>

開催日程

令和元年11月19日(火)		令和元年11月20日(水)	
講演スペース	展示スペース	講演スペース	展示スペース
10:00 ~ 12:00 基調講演①	10:00~16:00 実機体験	10:00 ~ 12:00 基調講演②	10:00 ~ 16:00 実機体験
-		12:00 ~ 16:00 休憩・相談 スペース	

福岡県庁へのアクセス

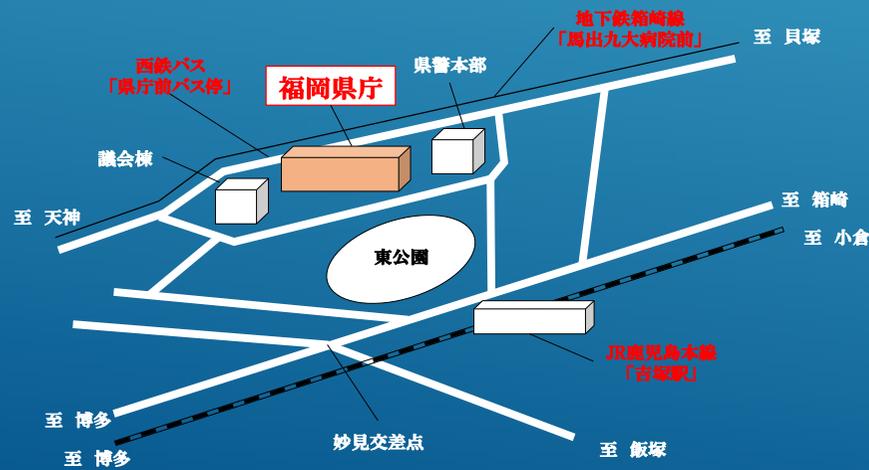
所在地 〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号

電話番号 092-643-3229

交通アクセス

- ・JR : 「吉塚」駅 徒歩8分
- ・地下鉄 : 「馬出九大病院前」駅 徒歩5分(2番、6番出口が最寄り出口)
- ・西鉄バス : 「県庁前」バス停 徒歩1分

周辺マップ

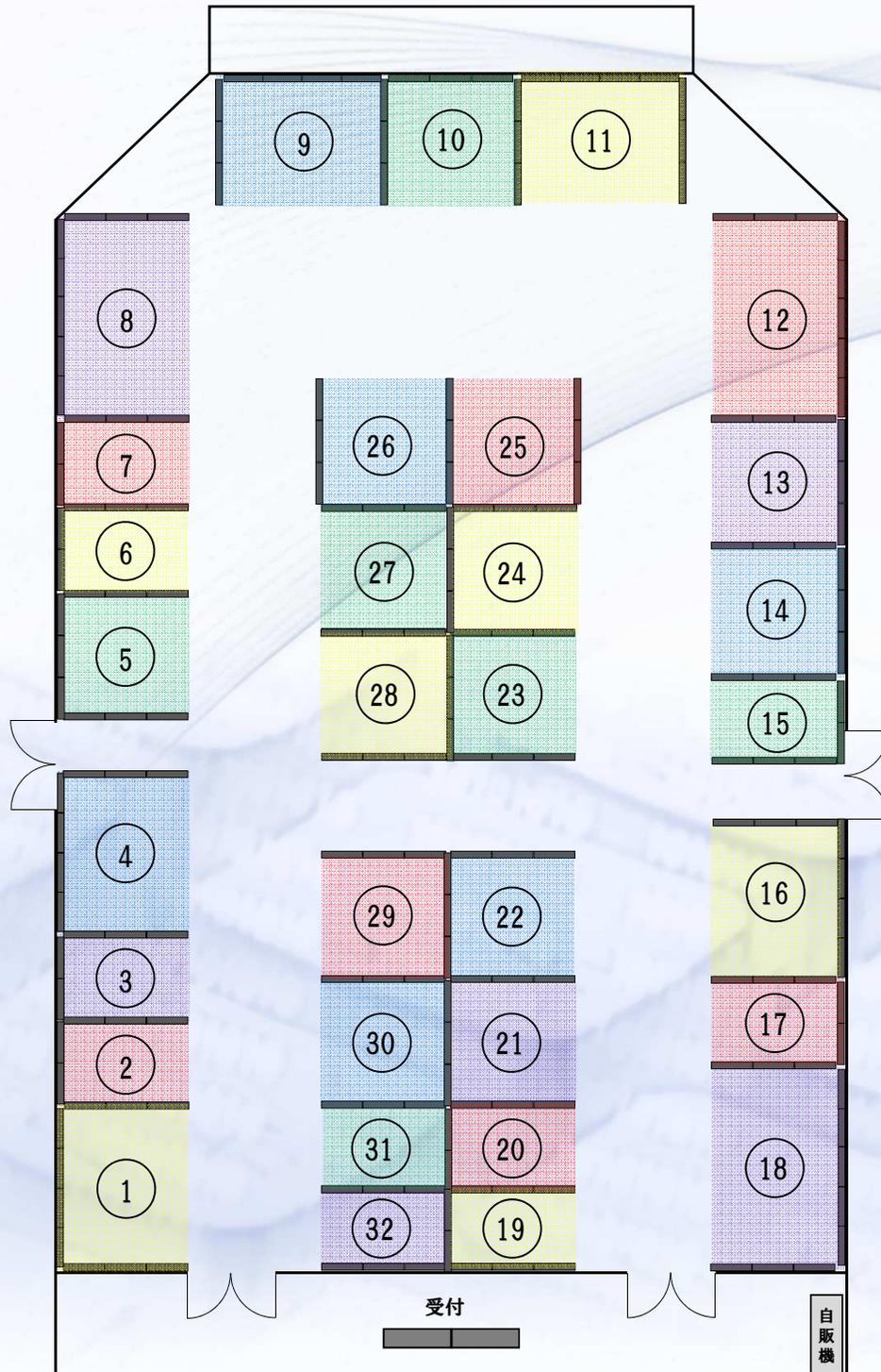


VITALIZE KYUSHU BY SOCIETY 5.0
ふく電協フェア
2019

2019年
11月19日(火)~20日(水)
会場：福岡県庁
主催：ふくおか電子自治体共同運営協議会
共催：福岡県



会場レイアウト



出展者名及び出展製品名

東芝デジタルソリューションズ株式会社		
1	RECAIUS 音声書き起こしエディタ	AI関連
	自治体向け LINE住民サービス	AI関連
	RECAIUS ナレッジエディタ	AI関連
	RECAIUS 音声クリエータ	AI関連
リーディングエッジ株式会社		
2	ROBOWARE	RPA関連
	業務向けソフトロボットツール	RPA関連
富士ゼロックスシステムサービス株式会社		
3	異動受付支援システム	基幹系
	申請書作成支援システム	基幹系
九州電力株式会社		
4	九電ドローンサービス	安心・安全・防災
	Zero Drive	安心・安全・防災
	おけいこタウン	内部情報系
T I S 株式会社		
5	Dr.sum	内部情報系
	Motion Board	内部情報系
	SPA	AI関連
	UiPath	RPA関連
アマゾンウェブサービスジャパン株式会社		
6	AWS EC2関連	基幹系
	AWS EC2関連	基幹系
	AWS EC2関連	安心・安全・防災
	AWS EC2関連	AI関連
	AWS EC2関連	RPA関連
株式会社日立ソリューションズ西日本		
7	ADWORLD 人事給与システム	内部情報系
	ADWORLD 人事評価システム	内部情報系
株式会社九州日立システムズ		
8	住民情報(住基)システム	基幹系
	住民情報(税)システム	基幹系
	住民情報(福祉)システム	基幹系
	住民情報(国保)システム	基幹系
	desknet's NEO	内部情報系
	電子入札システム	基幹系
株式会社日立製作所九州支社		
9	SIP4D	安心・安全・防災
	インタラクティブブリーフィング装置	安心・安全・防災
	ドローンソリューション	安心・安全・防災
	高速人物発見・追跡ソリューション	AI関連
株式会社オーイーシー		
10	fmSMARTファシリティマネジメントシステム	内部情報系
	eG-Reserve公共施設予約システム	基幹系
	LoGoチャット	内部情報系
富士通株式会社九州支社		
11	Zinrai TalkVisible	AI関連
	Axelute for IC21	RPA関連
	Zinrai for 365 Dashboard	AI関連
	TIME CREATOR	内部情報系
	スマートコンタクトサービス for Public	AI関連
行政システム九州株式会社		
12	Acrocity 住民情報システム(住基)	基幹系
	Acrocity 総合支援型窓口システム	基幹系
	Acrocity × BI	基幹系
	Acrocity × RPA	RPA関連
	AcrocityPlus給食費システム	基幹系
	登記履歴管理(課税連携)システム	基幹系
北日本コンピュータサービス株式会社		
13	福祉総合システム「ふれあい」生活保護システム	内部情報系
	ふれあいコンシェルジュ	AI関連
国際航業株式会社		
14	Genavis SonicWeb-EXT	安心・安全・防災
	Genavis SonicWeb-Cloud	安心・安全・防災
	KMA-a	安心・安全・防災
株式会社サン・プランニング・システムズ		
15	iGrafx BPR+	内部情報系
	iGrafx Platform	内部情報系
ネットワンシステムズ株式会社		
16	Proself + Opswat	内部情報系
	WebEX EdgeConnect	安心・安全・防災
	IPカメラ + SAFR	安心・安全・防災

株式会社熊本計算センター		
17	避難行動支援システム	安心・安全・防災
	株式会社RKKコンピューターサービス	
18	基幹系システム(住民記録系)	基幹系
	基幹系システム(税)	基幹系
	基幹系システム(保険)	基幹系
	基幹系システム(介護・福祉)	基幹系
	財務会計システム	内部情報系
災害対応システム		安心・安全・防災
株式会社アイネス九州支社		
19	AIスタッフ	AI関連
	RPA	RPA関連
株式会社ワンビシアークイブズ		
20	WAN-Sign	内部情報系
	AI-OCR	AI関連
	デジタルアーカイブ	安心・安全・防災
	バックアップテープ保管・集配サービス	安心・安全・防災
	WANストレージ	安心・安全・防災
	WAN Report	内部情報系
21	RECOLO	内部情報系
	文書保管・集配サービス	内部情報系
	文書管理コンサルティング	内部情報系
株式会社スカイコム		
21	SkyPDFペーパーレス/電子サインソリューション	RPA関連
	BizRobot Paper-free	RPA関連
株式会社G-Place		
22	スグレス	AI関連
	パース	安心・安全・防災
	パースシェア	安心・安全・防災
西日本電信電話株式会社 福岡支店		
23	ドローン連携 コミュニケーションシステム	安心・安全・防災
	WinActor	RPA関連
	幼児教育・保育無償化対応ソリューション	基幹系
	道路路面診断ソリューション	AI関連
株式会社セールスフォース・ドットコム		
24	汎用電子申請システム	内部情報系
	LINE総合窓口ソリューション	内部情報系
	AIOCR技術等を活用した汎用台帳システム	内部情報系
株式会社パスコ		
25	PasCAL for LGWAN	内部情報系
	わが街ガイド	内部情報系
	Mappin' Drop (マッピングドロップ)	内部情報系
株式会社NDKCOM		
26	TASKクラウド住民記録システム	基幹系
	TASKクラウド税務情報システム	基幹系
	TASKクラウド会計システム	内部情報系
株式会社BCC		
27	AIチャットボット きいちャってん	AI関連
	AI-OCRサービス「Tegaki」	AI関連
	AI要約システム「QuickSummary」	AI関連
日本電気株式会社		
28	顔認証システム	安心・安全・防災
	AI-OCR	AI関連
	次世代地域包括支援システム	基幹系
申請業務電子化システム		内部情報系
LINE Fukuoka株式会社		
29	LINE公式アカウント(地方公共団体プラン)	安心・安全・防災
	LINE公式アカウント(福岡事例紹介)	安心・安全・防災
エコー電子工業株式会社		
30	AmiVoice議事録作成支援システム	AI関連
	雨量観測システムEQROS	安心・安全・防災
株式会社両備システムズ		
31	i-Blend(住民生活総合支援アプリ)	安心・安全・防災
株式会社Braveridge		
32	ため池管理システム	安心・安全・防災
	Braveridge独自のIoTプラットフォーム	安心・安全・防災

～ふく電協フェア 2019～
情報システム実機体験研修会開催報告について

1 開催概要

(1) 開催日程

令和元年11月19日(火) 10:00～16:00

令和元年11月20日(水) 10:00～16:00

(2) 基調講演

①パブリッククラウドの活用及びAI導入の取組みについて

講師：静岡県浜松市企画調整部 情報政策課 村越 功司 氏

②つくば市におけるBPRやAI導入の取組みについて

講師：茨城県つくば市総務部 ワークライフバランス推進課 三輪 修平 氏

(3) 展示テーマ

①基幹系システム

②内部情報系システム

③AI関連システム

④RPA関連システム

⑤安心・安全・防災関連システム

(4) ふく電協フェア会場風景

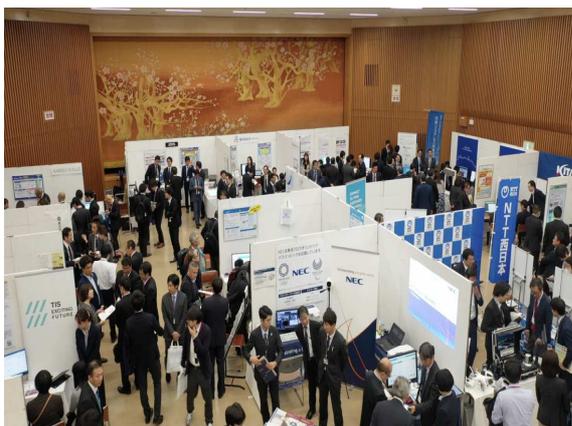
① 基調講演(1)



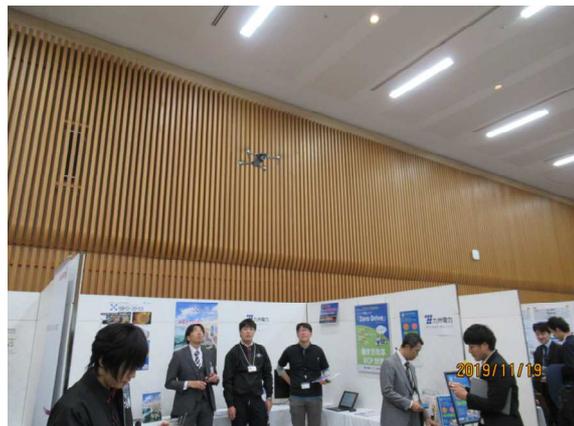
② 基調講演(2)



③ 展示会場



④ ドローンデモ飛行



2 来場者状況

() 内は昨年度比較

県内60団体のうち、45団体(+3) 184名(+32)が参加し、1団体あたりの来場者数は約4.1名(+0.5)であった。県職員の来場者は27所属(+8) 83名(+32)、1所属あたりの来場者数は約3.1名(+0.5)であった。また、今年度は新たに県外から33団体97名、県警から17所属59名の参加があり、2日間の来場者数の合計は423名となった。

しかし、県内の15団体(-3)からの来場がなく、また県・市町村ともに担当課職員の来場が少なかったことから、昨年度に引き続き周知方法については検討する必要がある。

(1) 1日目(合計: 265名)

- ① 県内職員: 106名(41団体)
- ② 県職員: 31名(15所属)
- ③ 県外職員: 61名(24団体)
- ④ 県警職員: 29名(8所属)
- ⑤ 事業者: 38名

(2) 2日目(合計: 236名)

- ① 県内職員: 78名(29団体)
- ② 県職員: 52名(19所属)
- ③ 県外職員: 36名(15所属)
- ④ 県警職員: 30名(13部署)
- ⑤ 事業者: 40名

(3) 合計: 501名

- ① 県内職員: 184名(45団体)
- ② 県職員: 83名(19所属)
- ③ 県外職員: 97名(33団体)
- ④ 県警職員: 59名(17所属)
- ⑤ 事業者: 78名

3 来場者アンケート結果(資料: K172-2-1-3-2)

来場者の約半数(展示会: 約45%、基調講演: 約52)が情報部門の職員となっており、講演及び展示についての感想は、ほぼ全員が「関心があった」との回答であった。

また、基調講演については、「新たな感覚を得た」や「目線が変わった」など、先進自治体の考え方に影響を受けた意見が多くあった。

(1) 所属部門

① 展示会

- 情報部門: 68名(約45%)
- その他所属: 82名(約55%)

② 基調講演

情報部門：82名（約52%）

その他所属：75名（約48%）※参加者合計は190名

(2) 主な意見

① 展示会

- ・今後も毎年開催してほしい。
- ・展示会をより大規模に開催してほしい。
- ・各ブースに業者名と製品名を表示してほしい。
- ・予算編成時期に間に合うように開催時期を早めてほしい。

② 基調講演

- ・規模の小さな自治体でもできる話を聞きたい。
- ・オンプレとクラウドの両方を活用するハイブリッド運用の事例も知りたい。
- ・新たな感覚を得ることができ、大変役に立つ講演であった。
- ・思考が柔軟で視野の広い方の話を聞くことができて良かった。

4 協力（展示）事業者アンケート結果（32社）（資料：K172-2-1-3-4）

ほぼすべての事業者（1社が展示の趣旨に沿えていなかったため、今回はメリットが無かったと回答）が出展のメリットを感じており、次回開催にも協力できるとの回答であった。

また、開催時期については、11月であれば参加できる事業者が多い一方で、予算時期前の7月～8月頃を希望する事業者が複数社あった。

(1) 実機体験団体数及び人数（事業者平均値）

団体数：25団体（最大：45、最少：7）

人数：46名（最大：103、最少：10）

(2) 改善・要望事項

- ① ブース面積を広くしてほしい。（6社）
- ② 基調講演が行われている間の展示会の見直し。（3社）
- ③ 会社名やブース番号のパネルを貼ってほしい。（2社）
- ④ 来場者をうまく誘導するため、一方通行にするなど検討してほしい。（2社）
- ⑤ 出展事業者の待機場所や商談場所を確保してほしい。（2社）

5 次回対応について（案）

(1) 周知方法について

県内市町村への周知方法については、情報主管部門だけではなく、県庁の各課から市町村の関係各所に周知してもらおう。また、K I A I や九総通、九経連を活用した周知もあわせて検討する。

(2) 基調講演中の展示会場の利用方法について

今年度より展示会と講演会場を別に分けて開催したが、講演中においては展示会場の来場者が少なくなることから、講演最中は展示会場でイベントを開催するなど、来場者を増やす工夫が必要である。

(3) 展示ブースのパネル掲示等について

来場者及び出展事業者より、会社名やブース番号等のパネル掲示の要望があったことから、パーティションと同様に仕様統一の観点から、事務局にて一括して準備するように検討する。なお、費用については、出展事業者にて按分とし、事務局は契約、支払事務のみ行う。

(4) ブースの割り当てについて

ブースの拡張要望が多かった（特にDブース）ため、パーティションのサイズ変更や通路幅の再検討等により、全体的にブース面積の最適化を検討する。

(5) R2年度ふく電協フェア来場者目標について

県内60団体のうち、15団体から来場者がなく、担当課職員も少なかったことから、今年度に続き周知方法の工夫が必要である。九州・山口県からは、ある程度の来場があったため次年度も案内することとする。

なお、午後の時間に来場が集中していたことから、県職員と市町村職員の来場を分散する方法を含めて検討する。

① 県内職員：300名（60団体×5名）

② 県職員：100名（25所属×4名）

③ 県外職員：150名（50団体×3名）

④ 県警職員：100名（25所属×4名）

計：650名（54%増）